

## 厚生病院のトピックス

2013/2/7  
厚生病院

## 1 平成24年度上期決算

(百万円)

	22年度上期	23年度上期	24年度上期
医業収益	2, 7 8 4	2, 9 8 4	2, 9 8 8
(1日平均入院患者数)	(246人)	(264人)	(253人)
(1日平均外来患者数)	(523人)	(558人)	(547人)
[入院単価]	(44, 584円)	(44, 329円)	(45, 938円)
[外来単価]	(11, 158円)	(11, 270円)	(11, 403円)
医業費用	2, 9 8 5	3, 1 2 5	3, 0 8 8
医業損益	△ 2 0 1	△ 1 4 1	△ 1 0 0
経常損益	△ 6 5	4 4	8 7
純 損 益	△ 6 5	4 3	9 2

- ・入院患者数、外来患者数ともに前年度より減少したものの単価が増加したこと及び予防接種を中心とした保健衛生収益が増加したことにより、前年同期とほぼ同様の医業収益を確保
- ・高額な診療材料に係る支出が前年同期より減少したこと等により、医業費用は前年同期より約4千万円減少
- ・このことにより、純利益は前年同期より約5千万円増

## 2 厚生病院での分娩受入の大幅増加

- ・中部医療圏で分娩可能な医療機関は、厚生病院のほかは開業産婦人科1院のみだが、この医療機関が助産師減少、施設改修等により分娩の受入制限を行った結果、厚生病院での分娩受入が大幅に増加している。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	小計
H23	44	40	39	54	44	38	41	49	47	396
H24	51	66	41	46	54	58	80	51	51	498

- ・分娩の増加に伴い、助産師の勤務形態を通常の3交替制から1日11時間45分の長時間勤務を組み入れた変則勤務に変更し、夜間の分娩体制を強化するとともに、10月は鳥取大学からの産科当直の派遣医師の回数を増やして対応した。

## 3 医療機能の充実

## (1) リニアック棟の完成

- ・地域医療再生基金を財源の一部として平成24年3月より整備を進めていたリニアック棟が平成24年12月に完成

- ・高出力タイプの放射線治療装置は、ビーム調整等の作業を行った上で平成25年4月から稼働予定。  
(根治治療の適用開始は、5月の連休明け予定)
  - ・機器の更新に伴い、新規症例の受入を、平成25年2月から3月までの間停止し、他への医療機関への紹介で対応する。
- (2) CT装置の2台体制整備
- ・新型の放射線治療装置整備に伴い、放射線治療計画兼現行CTバックアップ用として、16列のCT装置を整備し、迅速なCT検査の態勢を整備するとともに、定期点検時等のバックアップ機能を整備  
(平成24年12月より稼働開始)

#### 4 25年度の主な事業計画

- (1) 総合医療情報システムの更新整備
- ・平成19年に導入した総合医療情報システムについて、データの増大に伴う容量不足等に対応するため、更新整備を行い、安定的な診療業務の確立を図る。  
(更新予定システム：電子カルテシステム、放射線システム、内視鏡システムほか)
- (2) 職員の増員
- ①看護師
- ア 褥瘡管理者 1名  
※褥瘡ハイリスク患者ケア加算の算定及び認定看護師の専門性発揮に対応した増員
  - イ メディエーター 1名  
※医療の苦情に係る初期対応の充実を企図した増員
- ②医療技術職
- ア 臨床検査技師 1名  
※超音波検査等、生理機能検査の増加に伴う増員
  - イ 診療放射線技師 1名  
※CT装置の増設等に対応した増員
  - ウ 薬剤師 3名  
※病棟薬剤師配置を企図した増員(25年度から年次的増員予定)
  - エ 理学療法士 1名  
※急性期リハビリの需要増に対応した増員
- ③事務系職
- ア 医師事務作業補助(非常勤職員) 8名  
※医師事務作業補助体制加算3(25対1)の算定を企図した増員
  - イ 医療ソーシャルワーカー(非常勤職員) 1名  
※相談件数の増加に伴う増員